

第一部

教師の権威と教育・指導関係

教師の指導力というものは、教師がいかなる権威を持ち、そして児童生徒とどのような関係を結ぶかによつて決まるものです。しかし、遺憾なことに、「権威」という言葉は、語感の上でもまた意味の上でも、「権力」という言葉と類似するところがあるために、それとよく混同され、取り違えられ、したがって、「教師の権威」というものも「教師の権力」という意味合いで解釈されることが少なくありません。また、「関係」というと、人は専ら「情緒的な人間関係」を思い浮かべ、教師と児童生徒の取り結ぶ関係がもつと幅広く奥行きのある専門的な教育指導関係であることにはなかなか思い至りません。このようなことから、一般に教師が、正しい権威を持ち、正しい教育指導関係を築くこと、すなわち、真の指導力を得ることは、容易なことではないのです。

この第一部では、教育臨床的観点から、まずは教師の権威とは何か、教育指導関係とはいかなるものか、ここから説き明かしていきたいと思えます。